

7-1 Aichi Sky Expo の活用などによるMICEの誘致・開催と国際観光都市の実現

(1) 国際見本市、国際会議等の戦略的な誘致

<3カ年の取組方向>

- 当地域により多くのMICEを誘致するため、Aichi Sky Expo を活用した国内外の大型の催事や展示会等の誘致に向けて取り組むとともに、官民で構成するAichi Sky Expo 活性化推進機構により、展示会等を企画・開催するなど、展示会産業の活性化に取り組んでいく。また、愛知・名古屋MICE推進協議会による大規模MICEの開催支援など戦略的な誘致プロモーションを推進していく。

<具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2021	2022	2023	
国際見本市、国際会議等の戦略的な誘致推進	Aichi Sky Expo を最大限に活用した誘致活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国内外の展示会・イベント主催者へのPR・誘致活動の支援</li> <li>○音楽コンサートの開催を支援する補助金の創設</li> </ul>	Aichi Sky Expo の年間想定稼働率（展示ホール）： 21%（2021年度） 25%（2022年度） 25%（2023年度）		観光コンベンション局
	Aichi Sky Expo 活性化推進機構を通じた新たな展示会需要の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域プロモーションの実施</li> <li>○催事の開催支援</li> <li>○展示会等の企画・開催</li> </ul>			観光コンベンション局
	愛知・名古屋MICE推進協議会による地域が一体となった取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○MICEセミナーの開催</li> <li>○国内外のMICE見本市、商談会への出展・参加（5回）</li> <li>○東京都と連携した誘致活動の実施</li> <li>○プレジャーの啓発促進やプロモーションの実施</li> <li>○大規模MICEの開催支援（15回）</li> <li>○テクニカルビジット（産業視察）オンラインツアーの実施</li> </ul>			観光コンベンション局

【Aichi Sky Expo】



【MICEセミナー】



<コラム⑩> Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)

Aichi Sky Expo は、愛知県常滑市の中部国際空港（セントレア）島内に、2019年8月に開業した国際展示場で、世界に誇る3つの利点を兼ね備える最新のイベント拠点です。

【日本最大級の展示面積】

6つの展示ホール、18の会議室、約35,000㎡の屋外多目的利用地、3,447台の駐車場を備え、延床面積約90,000㎡、その展示面積は日本最大級となる60,000㎡を誇る超大型施設で、国際的なイベントにも対応が可能。

【日本初の国際空港直結型展示場】

中部国際空港（セントレア）から直結の屋根付き通路で結ばれており、また、徒歩5分でアクセスが可能な立地であることから、海外から来訪する際の利便性も高い。

【日本唯一の常設保税展示場】

日本国内で唯一となる、関税不要で外国製品を展示することのできる保税展示場の常設会場であり、簡単な手続きでの国際的な展示会の開催や、外国からの展示物を関税などが課されないまま出展することが可能。

開業に当たってその愛称を一般公募し、応募総数2,581件の中で検討が行われた結果、将来に向かって羽ばたいていくイメージとしての「Sky」と、展示会の意味として国際的にも浸透している「Expo」が採用され、「Aichi Sky Expo（アイチ スカイ エキスポ）」と名付けられました。

今後も、Aichi Sky Expoにおける催事の開催環境の一層の充実や、全国屈指の産業集積地である本県のMICE開催地としてのポテンシャルの高さといった強みを活かしながら、運営事業者である愛知国際会議展示場（株）や官民連携組織であるAichi Sky Expo活性化推進機構とともにMICEの更なる誘致、開催に取り組んでいきます。

(2) MICEを核とした国際観光都市の実現

<3カ年の取組方向>

- MICEを核とした国際観光都市としての国際競争力を高めていくため、中部国際空港の二本目滑走路の早期実現を国等に働きかけるとともに、国際観光都市としての魅力ある機能整備の具体化に向けた検討を進めていく。

<具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2021	2022	2023	
MICEを核とした国際観光都市の実現	中部国際空港の二本目滑走路の整備を始めとする機能強化及び需要拡大の推進【再掲8-1(4)】	○二本目滑走路の早期実現に向けた国等への働きかけ ○中部国際空港利用促進協議会による中部国際空港の需要拡大に向けた取組推進	→	→	都市・交通局
	魅力ある機能整備の具体化に向けた検討	○MICEを核とした国際観光都市の実現をめざした魅力ある機能整備の具体化に向けた検討	→	→	政策企画局

## 7-2 アジア競技大会を活用した戦略的なネットワークづくり

### <3カ年の取組方向>

○ アジア競技大会の機会を活かし、既に友好・協力関係にあるアジア諸国との関係を深化させていくとともに、その他のアジアの国々との新たなネットワークづくりを推進していく。また、アジア競技大会を契機としてアジアにおける本県産業の存在感を強めていくため、国際ビジネスに関するワンストップサービス拠点である、あいち国際ビジネス支援センターにおける国際ビジネスに関する県内企業への総合的な支援や、アジア競技大会に向けたあいちの農林水産業魅力向上プロジェクトの推進に取り組んでいく。さらに、留学生の受入れ支援により、アジア諸国からの高度人材の受入れ拡大を図っていく。

### <具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2021	2022	2023	
アジアの国々との交流の推進	友好・協力関係の深化【再掲 7-5(1)】	○既に連携しているアジア諸国との交流の推進	→		政策企画局
	新たなネットワークづくりの推進	○新たなパートナーシップの構築に向けた検討	→		関係局
本県産業の存在感の強化	あいち国際ビジネス支援センターによる海外展開の総合的な支援【再掲 7-3(1)】	○国際ビジネスに関する相談対応や専門家によるハンズオン型支援の実施	→		経済産業局
	「Made in AICHI」のブランド力強化	○アジア競技大会に向けたあいちの農林水産業魅力向上プロジェクトの推進	→		農業水産局
		○アジアの国々が抱えている多様な課題に対する県内企業が持つ技術の活用や販路拡大の支援	→		経済産業局
アジアからの高度人材の受入れ拡大【再掲 7-4(1)】		○愛知のものづくりを支えるアジア諸国の留学生の受入れ支援（5名）	→		政策企画局

あいち国際ビジネス支援センターの利用件数：年間800件（～2025年度）

あいち国際ビジネス支援センターの利用件数：年間800件（～2025年度）

【愛知のものづくりを支える留学生の受入れ】



【あいち国際ビジネス支援センター】



<コラム⑳> アジア競技大会に向けたあいちの農林水産業魅力向上プロジェクト

国内外から多くの観光客が来県するアジア最大のスポーツの祭典であるアジア競技大会等の機会を活用し、愛知県産食材等の提供やあいちの花によるおもてなしを行い、また、愛知の魅力ある農山漁村を多くの人に訪れてもらうことで地域の活性化につなげるため、県産農林水産物のPRや農山漁村の魅力向上に取り組みます。

■ 県産農林水産物の需要拡大

- ・ トップセールスや各種メディアを活用した情報発信などによる国内外に向けたPR
- ・ 日本一の「花の王国あいち」を広くPRし、花きによるおもてなしや花贈り文化の普及を推進

■ 農山漁村の魅力の向上

- ・ 農業観光ルートの創出等を通じたインバウンド需要の安定的な確保等



<コラム㉑> アジア競技大会を契機とした本県産業の存在感の強化

2026年9月に、この愛知・名古屋において、アジア最大のスポーツの祭典である第20回アジア競技大会が開催されます。アジア競技大会については、単なる国際的スポーツ大会の開催に留まらず、地域活性化の促進につながる重要な機会となることから、本県として取り組むべき地域活性化の方向性を示すため、2019年3月に「アジア競技大会を活用した地域活性化ビジョン」を策定・公表しました。

ビジョンには、地域活性化のための基本施策として4つの目標が掲げられており、目標の3つ目に「アジアにおける愛知の産業の存在感を強める」ことが位置付けられています。

アジア競技大会は、大会自体がショーケースとしての役割を果たすなど、本県のものづくりの先端技術や地場産業、農林水産物等をアジアに向けてアピールし、アジアと愛知の関係を深化させ、アジアにおける本県の産業の存在感を強める絶好の機会となります。

本県のものづくり等の蓄積を活かした、アジアの課題解決、スポーツ振興等に貢献する技術開発、応用の促進、工業製品や農林水産物等の本県製品のブランド力強化やアジアへの販路拡大、アジアからの高度人材の受入れ拡大と地域における活躍の促進など、ビジョンに位置付けられた施策を推進することで、本県の産業力を活かした地域活性化につなげていきます。



5Gを活用した遠隔型自動運転公道実証実験の様子



愛知の花によるピクトリーブーケ

### 7-3 グローバル市場の更なる獲得と海外からの投資促進

#### (1) 県内企業の海外展開や販路開拓への支援

##### <3カ年の取組方向>

- あいち国際ビジネス支援センターや、海外に設置した海外産業情報センター及びサポートデスクにおける総合的な相談対応に加え、ジェットロとの覚書や金融機関・商社との協定に基づく支援により、海外への進出を希望する企業や、海外へ進出した企業に対する支援などを行っていく。
- 海外市場の獲得や外国企業の取引をめざす企業に対して、海外で開催される見本市等への出展支援や、グローバル展開に向けた知的財産の相談対応、特許等の外国出願の支援などをきめ細かに行っていくとともに、覚書に基づいたアジアの国々との経済交流を推進していく。

##### <具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2021	2022	2023	
海外進出企業に対する総合的な支援	あいち国際ビジネス支援センターによる海外展開の総合的な支援	○国際ビジネスに関する相談対応や専門家によるハンズオン型支援の実施 あいち国際ビジネス支援センターの利用件数：年間800件（～2025年度）			経済産業局
	海外産業情報センター（上海、バンコク）による総合的な支援	○県内中小企業の海外事業活動支援	海外産業情報センター・サポートデスクにおける相談件数：年間410件（～2025年度）		経済産業局
	サポートデスク（江蘇省、ベトナム、インド、インドネシア）による総合的な支援	○海外活動に関する各種相談対応 ○進出企業同士のネットワークづくりの推進			経済産業局
	覚書に基づくジェットロと連携した支援	○県内企業・事業者と海外企業とのマッチング支援 ○海外に進出している県内企業・事業者への支援 ○海外展開に関心を持つ県内企業・事業者への情報提供			経済産業局
	協定に基づく民間企業と連携した支援	○県内企業からの相談対応 ○海外工業団地入居時の優遇措置の実施 ○県主催ビジネスセミナー等の広報や講師の派遣 あいち国際ビジネス支援センターの利用件数：年間800件（～2025年度）			経済産業局
中小企業の海外販路開拓への支援	海外見本市等への出展支援	○見本市等に出展する県内企業の支援			経済産業局
	知的財産等に関する支援	○グローバル展開に向けた知的財産の相談対応や普及啓発の実施 ○特許等の外国出願の支援			経済産業局
覚書に基づくアジアとの経済交流の推進	タイとの経済交流の推進	○タイ工業省やタイ投資委員会等との連携	国内外における経済交流事業の実施件数：70件（2025年度）		経済産業局
	山東省との経済交流の推進	○山東省政府と連携した意見交換会などの企業支援等の実施			経済産業局

【海外進出企業との意見交換会】



(2) 外国企業の誘致促進・海外からの投資促進

<3カ年の取組方向>

- 本県への海外企業の誘致や海外からの投資の促進のため、アジアの国々を始めとした経済交流を深めていくとともに、グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会（GNIC）やジェットロなどの関係機関との連携、海外産業情報センターによる取組を推進していく。

<具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等	
		2021	2022	2023		
外国企業の誘致促進・海外からの投資促進	関係機関と連携した取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○I-BAC（愛知・名古屋国際ビジネス・アクセス・センター）と連携した外国企業誘致活動の実施</li> <li>○GNICによる外国企業誘致に係る広報宣伝活動、外国企業発掘活動、招へい活動の実施</li> <li>○覚書に基づく本県への進出に関心を持つ外国企業へのジェットロと連携した支援の実施</li> </ul> 【再掲 7-3(1)】	国内外における経済交流事業の実施件数：70件 (2025年度)		経済産業局	
	海外産業情報センター（上海・バンコク）による総合的な支援	○本県への海外からの直接投資の促進				経済産業局
覚書に基づくアジアとの経済交流の推進 【再掲 7-3(1)】	タイとの経済交流の推進	○タイ工業省やタイ投資委員会等との連携				経済産業局
	山東省との経済交流の推進	○山東省政府と連携した意見交換会などの企業支援等の実施				経済産業局

## 7-4 海外からの人材獲得

### (1) 留学生の受入れ拡大・活躍の促進

#### <3カ年の取組方向>

- 外国人材の活用に対するニーズに対応するため、アジア諸国からの留学生の受入れ支援や、留学プロモーションなどによる愛知の魅力発信に取り組んでいくとともに、外国人留学生を対象とした国内外でのインターンシップの実施や就活フォローアップ講座の開催などにより、県内企業への就職を促進していく。

#### <具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2021	2022	2023	
留学生の受入れの促進	アジア諸国からの留学生の受入れ促進	○愛知のものづくりを支えるアジア諸国の留学生の受入れ支援（5名）	→		政策企画局
	留学生に向けた愛知の魅力発信	○海外渡航の機会をとらえた本県への留学プロモーションの実施 ○ポータルサイトでの留学生向けの愛知の魅力発信		→	政策企画局
	帰国留学生のネットワークの活用推進	○ベトナム帰国愛知留学生ネットワーク（パロネット）と連携した交流会の開催		→	政策企画局
留学生の県内企業への就職促進		○インターンシップの実施（国内・ベトナム）（企業10社、留学生10名） ○就活フォローアップ講座（150名） ○企業見学ツアー（2回） ○企業と留学生との交流会の開催（3回） ○企業向け留学生採用講座の開催（5回）		→	政策企画局

【企業と留学生の交流会】



【企業見学ツアー】



### (2) 高度な技術や専門的知識を有する外国人材の受入れの促進

#### <3カ年の取組方向>

- 本県が外国の高度人材から選ばれる地域となるため、パンフレット等を活用した愛知ならではの魅力・住みやすさの発信、海外の大学・スタートアップ支援機関等との連携による本県の知名度の向上や人材交流を促進していく。また、外国人材の子弟が学ぶためのインターナショナルスクールの設置に向けた地域ニーズの把握・情報収集などに取り組んでいく。

<具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2021	2022	2023	
愛知ならではの魅力や住みやすさの発信		○広報誌「あいちのトビラ」による県の魅力の発信（日本語版、英語版、中国語版）【再掲9-4】 ○住みやすさに関するパンフレットやWebサイトでのPRの実施【再掲9-6(1)】	→	→	政策企画局
海外大学等との連携・協力による本県の知名度向上や人材交流の促進	海外大学との連携の推進	○中国3大学（清華大学・上海交通大学・浙江大学）との交流事業（学生・研究者の派遣・受入れ等）の推進に向けた実務協議の実施【再掲7-5(2)】	→		政策企画局
		○アジア大学サミットでのブース出展による本県のPRの実施【再掲7-5(2)】	→		
	○中国・清華大学との連携による県内スタートアップの中国ビジネス進出や中国のスタートアップと県内モノづくり企業とのマッチング支援【再掲6-1(2)】		→		経済産業局
	○シンガポール国立大学との連携による地域課題解決型のスタートアップを養成する現地滞在型プログラムの実施【再掲6-1(2)】		→		経済産業局
	アジア経済連携の推進【再掲7-3(1)】	○海外産業情報センターの運営（上海、バンコク） ○サポートデスクの運営（ベトナム、中国、インド、インドネシア） <b>海外産業情報センター・サポートデスクにおける相談件数：年間410件（～2025年度）</b>		→	経済産業局
	○MOUに基づく連携の推進（タイ、インドネシア、ベトナム、江蘇省、山東省）		→	<b>国内外における経済交流事業の実施件数：70件（2025年度）</b>	
教育環境の整備促進	インターナショナルスクールの整備促進	○地域ニーズと関連課題に関する情報収集の実施	→		政策企画局
		○外国人学校の施設整備等への支援	→		県民文化局

(3) 国家戦略特区の特例等を活用した外国人の創業支援

<3カ年の取組方向>

- 本県での創業を希望する外国人に対し、国家戦略特区の特例により入国からの一定期間の間の創業に関する活動を行うことを特例的に認めることに加え、創業活動への定期的な支援を行うなど、海外の有望な外国人起業家の受入れを拡大していく。

<具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2021	2022	2023	
外国人起業家の受入れ拡大や起業の促進	国家戦略特区の特例等の活用推進	○外国人の本県における創業活動計画に対する支援の実施	→	→	経済産業局



## 7-5 海外とのパートナーシップの構築

### (1) 友好・協力関係にある国・地域の拡大と関係深化

#### <3カ年の取組方向>

- 世界各地域との連携や交流を継続、発展させていくため、世界の諸地域との間で、ウィン・ウィンの関係を構築しながら互いに成長するための戦略的な事業を実施していく。行政や経済、教育など幅広い分野で交流を推進するとともに、今後成長が見込まれ、互いの地域特性を活かすことのできる国や地域との新たなパートナーシップの構築に向けて検討を進めていく。

#### <具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等	
		2021	2022	2023		
幅広い分野での交流の推進	知事渡航による交流推進	○米国への渡航 ・政府要人との面談 ・経済サミットへの出席 ○シンガポール・中国への渡航 ・スタートアップ関係機関との意見交換 ・広東省長との面談	○海外への渡航	→	政策企画局	
	友好提携先との交流推進	○ビクトリア州への職員派遣（2名）と使節団等の受入れ（2団） ○江蘇省への職員の派遣（2名）と使節団等の受入れ（3団） ○両州高官との会談等の実施	→	→	政策企画局	
	高校生の交流推進	○バンコク都からの高校生の受入れ（20名） ○京畿道からの高校生の受入れ（20名） ○広東省への高校生の派遣（13名）	○高校生の派遣（13名） ○高校生の派遣（13名） ○高校生の受入れ（20名）	○高校生の受入れ（20名） ○高校生の受入れ（20名） ○高校生の派遣（13名）		政策企画局
	更なる交流推進	○具体的な交流事業の実施に向けた協議・調整等の実施 ○サウス・バイ・サウスウエストへの学生・研究者グループの派遣	→	→	政策企画局	
新たな国や地域との交流の推進		○新たなパートナーシップの構築に向けた検討	→	→	政策企画局	

【愛知県・ビクトリア州・江蘇省友好提携40周年記念フェスティバルの様子】



(2) 海外の大学等との連携・協力関係の構築

<3カ年の取組方向>

- 本県への高度人材の誘致や、県内大学等の人材育成を促進するため、これまで関係を構築してきた海外の大学や支援機関等との間で、人材交流を始めとした連携・協力関係を更に深めていくとともに、新たな連携・協力関係の構築に向けて検討を進めていく。

<具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2021	2022	2023	
連携・協力関係にある大学等との交流の深化	アメリカ・テキサス大学との連携を通じた支援【再掲 6-1(2)】	○海外事業展開をめざすスタートアップを養成するプログラムの実施 ○スタートアップ支援機関を養成するワークショップの開催	→	→	経済産業局
	シンガポール国立大学との連携を通じた支援【再掲 6-1(2)】	○地域課題解決型のスタートアップを養成する現地滞在型プログラムの実施	→	→	経済産業局
	フランスのスタートアップ支援機関等との連携を通じた支援【再掲 6-1(2)】	○IMT Atlantique と県内大学の学術・人材交流促進支援 ○Paris&Co の有するスタートアップ・エコシステム形成ノウハウについてのセミナーの開催 ○INSEAD によるスタートアップ・エコシステム形成を担う人材育成を目的としたセミナーの開催 ○Bpifrance の実施するスタートアップ支援のノウハウについてのセミナーの開催 ○STATION F の知見を共有するためのアドバイザープログラムの実施	→	→	経済産業局
			→	→	
			→	→	
中国のスタートアップ支援機関等との連携を通じた支援【再掲 6-1(2)】	○清華大学との連携による県内スタートアップの中国ビジネス進出支援や中国のスタートアップと県内モノづくり企業とのマッチング支援 ○上海交通大学のスタートアップ関連の取組を紹介するセミナーの実施	→	→	経済産業局	
中国の大学との連携推進	○中国3大学(清華大学・上海交通大学・浙江大学)との交流事業(学生・研究者の派遣・受入れ等)の推進に向けた実務協議の実施	→	→	政策企画局	
新たな海外大学等との連携に向けた取組推進	○アジア大学サミットでのブース出展による本県のPRの実施 ○新たな連携・協力関係の構築に向けた検討	→	→	政策企画局	